

ヤングアダルトのための読書情報誌！

Ya-Room.com

第67号

令和6年（2024年）4月 発行



草加市立中央図書館ホームページ

<https://www.lib.city.soka.saitama.jp/>

ティーン向けの本の紹介や Ya-Room.com

のバックナンバーはこちらから



草加市電子図書館

<https://web.d-library.jp/sokad/>

スマホやタブレット

パソコンで本が読めます



わんにゃん特集

日本人にとって、春は新生活の始まりの季節。何かと変化の多い忙しい中、変わらず私たちに寄り添う存在がいますね。そう、ペットです！

中央図書館にもたくさんの動物の本があります。その中でも、ペットの代表格であり、人類のパートナーとして最も身近な動物である犬と猫。

そんな犬と猫について書かれた本をピックアップしてご紹介します。

『イヌのキモチ解剖図鑑』

マット・ワード／著（エクスナレッジ／刊）

犬に対しての行動それぞれであって？

最新の科学知識をもとに、犬の気持ちをポップなイラスト付きで分かりやすく解説。人と犬との良好な関係作りに必見！

『ひげよ、さらば』

上野 瞭／著（理論社／刊）

ナナツカマツカで目覚めた記憶喪失の猫ヨゴロウザの、個性豊かな猫たちとの愛憎や友情を描いた長編小説。描写される心の複雑さは、切なく胸に沁みる。

『ドベとノラ』

ヨシモト郎／著（KADOKAWA／刊）

飼うことの責任や苦勞はどうしてもあるけれど、愛した分だけ愛を返してくれるかけがえのない存在。笑いあり涙ありのほっこり温まる二匹と一人のお話。

『ネコ全史』

（日経ナショナルジオグラフィック／刊）

この中に、猫に関する気になるすべてが詰まっているといっても過言ではない。沢山のかわいいネコたちの写真と一緒に、ネコを深掘りできること請け合い。

▼他にもこんな本があるよ！▼

『ワーキングドッグ』福澤 めぐみ／編著（緑書房／刊）

『図書館司書32人が選んだ犬の本棚』高野 一枝／編著（郵研社／刊）

『いぬ大全304』藤井 康一／著（KADOKAWA／刊）

『ネコロジー』清田 予紀／著（主婦と生活社／刊）

『鴻池剛と猫のぼんたニャアアアン！』鴻池 剛／著（KADOKAWA／刊）

『おこがおうちにやってきた！』山本 宗伸／監修（学研プラス／刊）

『記憶屋』

織守きょうや／著 （KADOKAWA／刊）

～記憶をなくすことはいいことなのか～

“夕暮れ時、公園の緑色のベンチに座って待っていると、忘れたい記憶を消してくれるという都市伝説の怪人「記憶屋」が現れる。”

大学生の遼一は単なる噂だと思っていた。しかし、ある日突然大切な人の記憶が消されてしまい、記憶屋を探し始める。その正体は遼一の身近にいる人だった。記憶屋が記憶を消す本当の理由は…。

もし記憶屋に会うことが出来たら、あなたは何を願いますか…。

この本は、大学生である遼一と3つ年下の幼なじみの河合真希との物語です。『記憶屋』は他にもシリーズがあるので読んでみて下さい。 （1年生・O）



『魔法使いはだれだ』

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ／著 野口絵美／訳

佐竹美保／絵 （徳間書店／刊）

～この学校に魔法使いがいる～

そんなメモにより学校中は大騒ぎ！魔法使いは見つかってしまうと火あぶりにされてしまうため、魔法は厳しく禁止されている。そんな中、魔法としか思えない出来事が次々と起こってしまう…そこで真っ先に疑われたのは“大魔女の血を引くナン”と“仲間はずれのチャールズ”だった。追い詰められたナンと仲間たちは、助けを呼ぶ呪文「クレストマンシー！！」と唱える。ナン達の運命は…！？そして魔法使いの正体とは…？

読み進めるにつれて自分も物語の人物になったかのような感覚になり、一緒にドキドキしたりワクワクしたりと、ファンタジーの世界へ一気に入ることができます。 （1年生・Y）



☆ おしらせ ☆

埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本 2023 が発表されました！

埼玉県の高校図書館司書が選んだ

イチオシ本 2023



【アクセス】

獨協大学前<草加松原>駅西口 徒歩 1分

【開館時間】

月・水～土 9時～20時

日・祝日 9時～17時

火 休館日（祝日は除く）

発行者：草加市立中央図書館

住所：〒340-0041

埼玉県草加市松原1-1-9

電話：048-946-3000 FAX：048-944-3800

